

大会の参加に当たって

- (1) 各所在地の自治体や学校・職場から、移動制限等の要請が出ていないか、最終確認を行うこと。
- (2) 入館前2週間において、以下の事項に該当する場合は、入館できない。出発前に入館者全員に該当しないか確認しておくこと。
 - ・ 平熱を超える発熱
 - ・ 咳（せき）、のどの痛みなどの風邪の症状
 - ・ だるさ（倦怠感）息苦しさ（呼吸困難）
 - ・ 嗅覚や味覚の異常
 - ・ 体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
 - ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方いる場合
 - ・ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- (3) 「健康チェック表」を入館者全員が持参しているか確認すること。
提出できない場合は入館できない。必ず責任者が、選手ならびに来場者の健康状態を確認し、確認欄に押印またはサインをすること。宿泊を伴う場合は、当日の検温ができるように各自の体温計を持参しておくこと。
- (4) 厚生労働省から提供を受けている、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）を活用できるように準備する。COCOAを入れている場合は、電源をONにした上でBluetoothを有効にすること。
- (5) マスクを着用していない者は入館を認めない。館内では、泳ぐとき以外はマスクを着用すること。招集所内では、マスクをはずしてもよいが会話を控えること。招集所でははずしたマスクは、服のポケットか袋に入れること。
- (6) コーチは、練習時の大きな声での指示、ホイッスルの使用を控えること。マスクをしていない選手との会話では、マスクに加えフェイスシールド、またはアイガード・ゴーグルを着用し、眼からの飛沫感染も防ぐこと。
- (7) 入館から退館時までの全ての場面で、人との距離（2m以上）をとって行動すること。
- (8) 競技終了後、更衣室で水気を取り、マスクを着用し、室内履きを履いてから移動すること。
- (9) 唾や痰をプールサイドに吐かないこと。
- (10) 食事は、観客席でのみとし、人との距離（2m以上）を保ち単独で取ること。
- (11) 会場までの交通機関内で、マスクの着用、人との距離、座席間の距離、車内換気、会話などに留意すること。
- (12) 以下のものについては、持ち込み禁止とする。
 - ・ チーム共有のドリンクサーバー
 - ・ アイシングバス、トレーニングバイク等
 - ・ メガホン、横断幕、のぼり
 - ・ 共有で使用するストレッチマット（個人専用は持ち込み可）
 - ・ マッサージベッド
 - ・ チーム共有のチューブ、バランスボール等の運動用具（個人専用は持ち込み可）

第44回 全国JOC ジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会
AS競技 二次要項

公益財団法人 日本水泳連盟
JO 実行委員会

1. 大会について

- (1) 第44回 全国JOC ジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会は選手の健康を第一に考えるとともに会場での感染拡大防止のために、「無観客」で実施する。(公財)日本水泳連盟加盟団体関係者、クラブ関係者、出場選手の保護者をはじめ、観戦はできない。
- (2) 本大会は感染防止のために全日程を通じてプールエリアへの入退場を完全入替制とする。事前登録により選手、コーチにADカード(大会身分証)を発行し、競技日程により入退場規制を行う。
- (3) 本大会関係者は、新型コロナ感染防止対策として(公財)日本水泳連盟が定めた「水泳競技会の再開に向けた感染拡大防止ガイドライン(2020年6月15日(公財)日本水泳連盟ホームページ公表)」を順守する。感染拡大防止対策に関し、施設内では係員の指示に従うこと。
- (4) 本大会は、日本水泳連盟 COVID-19 Officer が常駐し対応にあたる。期間中に大会関係者の中で体調不良者や発熱者や感染の疑いが発生した場合には、直ちに大会本部に報告し、指示に従うこと(発熱者は医務室に直接立ち入ることはできない)。大会の開催継続については日本水泳連盟が判断する。
- (5) 本大会に関する追加連絡は整い次第、順次(公財)日本水泳連盟本大会ホームページ(以下HPという)に公開する。大会関係者は随時HPを確認すること。
- (6) 本大会は上訴審判団を設置する。
- (7) 本大会は全日程を通じて競技中に発生した事項に関する抗議は、その競技終了後に発表される正式結果の時刻から30分以内にクラブ代表コーチが、文書で審判長(レフリー)に提出する。

2. 競技について

- (1) 本大会は、(公財)日本水泳連盟諸規則および本大会競技要項に基づいて行う。安全・感染防止を最優先とし、大会を円滑に進行させることを目的として、競技規則を一部変更、省略して実施する。
- (2) 本大会は、全ての競技について映像で記録する。
- (3) 競技方法については全て大会要項の通り行う。
- (4) 監督者会議
感染予防策の強化として、8月21日(土)に予定していた監督者会議は中止する。質疑については別途、クラブ責任者宛に通知する方法で受け付けすることとし、監督者会議資料は8月20日(金)20:00を目途にHPに公開する。予めチーム責任者に通知したメールアドレスにて、同日中に質疑を受け付け、Q&Aとして8月21日(土)10:00を目途にHPへ公開する。(※質疑がない場合は公開しない)
- (5) 出場順の抽選
各ルーティン出場順の抽選は8月21日(土)10:00、AS13.7に基づき、会場内にて公開で行なう。クラブ関係者は公開抽選に立ち合うことができる。
抽選結果は会場内の公式掲示板に掲示する。12:00を目途にHPでも公開予定。
感染予防策の強化として、抽選は「出場選手名と出場順の引き合わせ」ではなくコンピューター抽選とする。事前にコンピューター抽選にて種目別に5パターンを準備、1~5のパターン抽選を行い、各1つ選択する。
15~18歳テクニカルルーティンで出場順1番を引いたソロ・デュエット・チームは、フリールーティンで、その種目に限り出場順1番は免除される。
- (6) 10~12歳および13~15歳フィギュア競技出場順の抽選は全フリールーティン終了後、速やかにプールサイドで行なう。
- (7) SEIKO リザルトシステムの登録情報の確認について
8月21日(土)公式練習時間内に関係資料を受付で受け取り、14:00までに受付へ提出する。

当日どうしても来場できないクラブは、別途 HP に方法を通知するので、確認すること。

3. エントリー変更・棄権申請について

- (1) エントリー時に補欠登録をした組については、メンバー変更の有無に関わらずエントリー切時刻（競技開始2時間前）に、所定の用紙をエントリーボックスに提出すること。
- (2) 棄権する場合は、エントリー切時刻（競技開始2時間前）に所定の用紙をエントリーボックスに提出すること。エントリー切時刻を過ぎてやむを得ず棄権する場合、速やかにレフリーに書面で届け出ること。
- (3) 本大会では万が一、発熱等の特別な事情により出場できないメンバーがいた場合、その種目への申請メンバーでの出場を可能とする。次のガイドラインを確認の上、対応が必要となったクラブは所定の方法で申請すること。尚、特別な事情を除き、エントリー変更・棄権申請については競技規則を適用し、種目変更やオープン出場は認められない。また、申込金は返金されない。

■エントリー変更・棄権に関するガイドライン

- ① ソロ・デュエットに関して、出場できない場合、理由を問わず競技規則を適用する。

ソロ：棄権扱い

デュエット：補欠がいない場合は棄権扱い。

- ② デュエット・チームについて、特別な事情で出場できない場合次の本大会特別措置を適用する。
- ③ フィギュア競技、15～18 歳テクニカルルーティン終了後のフリールーティンに特別な事情で出場できない選手がいる場合の特別措置・対応については別途 HP で通知する。

【特別な事情】

A：緊急事態宣言発出に伴い来場できない選手がいることにより、チームで泳ぐ人数がエントリー人数と変更になる場合。デュエット補欠がいる場合でエントリーメンバーが変更になる場合。

B：発熱等により、会場へ入場不可となった、または出場できなくなった場合。

【特別措置】

デュエット・チームについて、補欠がいる場合は補欠で補う。

10～12 歳および 13～15 歳チームフリー、15～18 歳テクニカルルーティンに補欠がいない場合、または補欠を入れてもエントリーした人数に足りない場合でも、4 名以上で泳げる場合には正式出場を認める。人数に満たない場合は棄権扱い。

【申請方法】

A の場合：8 月 19 日（木）までに「特別措置申請書（棄権申請）」「特別措置申請書（エントリー申請）」をメールで提出、プール到着後、原本をエントリーボックスに提出すること。

※「特別措置申請書」に関する詳細は、8 月中旬頃、別途、出場クラブ責任者宛にメールで通知する。

B の場合：文書で証明された場合のみ認められる。発症した時点で直ちに「特別措置申請書（棄権申請）」「特別措置申請書（エントリー申請）」をレフリーに提出する。

4. 表彰について

- (1) 大会要項の通り表彰する。ルーティンを泳いだ選手にのみメダル賞状を授与する
- (2) 表彰式は行わず、メダル・賞状等の受け渡しを行なう。その際、上位 3 位の選手、各年齢別の最優秀・優秀選手、JOC ジュニアオリンピックカップ授与者の記念写真を撮影する。

5. 競技日程

- (1) 競技日程・競技時間・出場数については HP 公開の別紙参照。
- (2) 競技進行状況により、競技時間・練習時間に変更がある場合は場内で告知する。

6. 公式練習・練習時間について

- (1) 練習日程・時間については HP 公開の別紙参照。
- (2) 8 月 21 日（土）公式練習での曲かけ練習は行わない。また 本大会は、密集・密接を回避するため、全日程を通じて曲かけ練習は行わない。
- (3) 公式練習時では密にならないよう、クラブ・グループ別の入替制とする。
- (4) 練習エリアはメインプール、ダイビングプールの指定輪番制とする。

- (5) サブプールは、終日スイムアップ・ダウンのみとし、技術練習は禁止する。
また、競技中の待機場所はメインプールエリアの指定場所とし、サブプールプールサイドでの待機はできない。
- (6) プールサイドにてマスクをしていない選手と対面で会話するコーチは、マスクに加えフェイスシールド、またはアイガード・ゴーグルを必ず持参すること。

7. 入館・退館、入場・退場について

- (1) 選手・コーチは大会会場への入退館、競技エリア（プールサイド・更衣室含む）入退場の際、事前申請により発行された選手・コーチの所属名・氏名入り AD カードを常に携帯、提示する。AD カードがない場合は大会会場へ入館、競技エリアへの入場ができない。
- (2) 大会会場への入退館口は 2F メインアリーナ観客席出入口とし、選手・コーチの待機・飲食指定場所および荷物置場は観客席とする。1F エントランス・ロビーは一般開放中なので、入場および使用することはできない。
- (3) 大会会場への入館開始時間を開場、最終退館時間を閉場とし、プールエリアへの入場・退場時間と合わせて日程表に記載する。開場時の入館は、その日の競技に出場する選手とコーチを最優先とし、規制する。
- (4) プールサイド・更衣室の使用は競技順別に制限する。競技エリアへはダイビングプール側の階段を使用し、2F 観客席から競技エリアへの通行口とする。当日競技に出場しない選手は観客席待機のみとし、プールサイド・更衣室の使用は出来ない。
- (5) 観客席の選手席はブロック指定にする予定。
- (6) 会場入場時には感染症予防対策として、入場者全員が手指消毒、検温をし、健康チェック表の提出が必要となる。

■検温

入館時の検温の結果 37.5 度以上の場合は COVID-19 オフィサーの指示に従う。

■「健康チェック表」の提出について

- ① HP からダウンロードした「健康チェック表」に、事前に必要事項を記入すること。「健康チェック表」は、公式練習日を含め毎日大会会場への入館時に 2F メインアリーナ観客席入口で提出すること。
- ② 「健康チェック表」の体温・体調については、入場 2 日前、1 日前、当日の 3 日分を記載すること。
- ③ 回収した「健康チェック表」は返却しないので、記載内容を各自記録しておくこと。

8. 競技・会場施設について

(1) 横浜国際プール

- ① メインプールは 50m×25m(10 コース)
水深：両サイドから 10m は 2.5m 中央 30m は 3.5m
競技エリアはダイビング側のスタート側より 30m 使用、競技外エリアは反対側 20m
- ② ダイビングプールは 25m×25m 水深 3.0m
- ③ サブプールは 50m×25m(8 コース) 水深 2.5m
- (2) メインプール競技エリアのスタート側 10m の水深は全面 2.5m のため水深を考慮した演技構成とし、安全に十分留意する。
- (3) 会場プールにステージは設置しない。
- (4) 更衣室は着替えのみに使用し(ロッカー使用不可)、選手・コーチ待機場所は観客席を使用する。
- (5) 選手・コーチともにプールサイドでの応援・観戦は出来ない。
- (6) 会場へのアクセスは、公共交通機関を利用する。
- (7) 会場施設、会場内の動線など詳細は、HP 公開の会場図、プール図で確認のこと。記載がないものは、監督者会議資料および現地での案内を予定。
- (8) 会場での注意事項
- ① 全員がまずは 2F 観客席に入場する。選手・コーチは指定時間に 1F 競技エリアへの通行口で AD チェックを受け、競技エリアへ入場。更衣室・プールへ移動できる。
選手は必要最小限の荷物を持参し更衣室に移動する。ガラス製品は持ち込まないこと。

- ②観客席は土足とする。競技エリアへの通行口階段下1Fプールサイドから選手は裸足、コーチは上履きの使用可。階段下で土足を脱ぎ、すぐにビニール袋などに入れて保管すること。土足はむき出しのまま床に置かないこと、置きっぱなしにしないこと。
- ③指定時間終了後、速やかに観客席に移動する。その際、水気を十分に拭き取って移動すること。裸足で移動しないこと。
- ④練習および競技中、プールサイドへは必要最小限の物のみ持ち込み可とする。各自でビニール袋やナップザックなどを持参し、全ての持参品をひとまとめにし、外から誰が見ても分かるようにクラブ名と氏名を大きく明記すること。荷物は決められた場所に置くこと。
- ⑤各自でマスクを保管する袋を用意し、他人のマスクと間違えることのないようクラブ名・氏名を明記する。使用後のマスクはビニール袋に入れ、その口をしっかりと閉じた上で持ち帰ること
- ⑥貴重品はクラブ毎にクラブ責任者が管理する。なるべく持ち込まないこと。
- ⑦更衣室は着替えのみに使用し、ロッカーは使用不可。更衣室の滞在時間短縮と密を避けるため、選手はできるだけ水着着用の上、来場すること。
- ⑧競技後のシャンプー、髪下しは宿舎に戻ってから行うこと。但し、競技後、宿舎に寄らず帰宅する場合には、シャワー室でのシャンプー使用を認める。シャワー室が密にならないよう、各自の演技終了後、速やかに行うこと。
- ⑨毎日出場する1種目めの髪上げはできるだけ宿舎で済ませて来ること。出場2種目以降や宿泊なしで会場入りする場合の髪上げは観客席裏で行うことを認める。尚、レジャーシートを持参し、広げたくて髪上げし、髪やゼラチン、ピン類で床を汚さないこと。尚、その場での飲食、荷物やシートの放置はしないこと。
- ⑩直前の身支度の手直しはダイビングプール奥の指定場所で行うことを認める。
- ⑪食事は観客席のみとする。感染予防のため、観客席で人との距離を保ち、会話を控えて単独で取ること。
- ⑫プールサイドでの水分補給を認める。飲み物も各自で責任をもって保管すること。
- ⑬会場内・外での発声を伴うランドリルは禁止する。
- ⑭コーチは、練習時プールサイドから水中にいる選手への大声での指導を控えること。競技・練習前後のマスクをしていない選手との会話では、マスクに加えフェイスシールド、またはアイガード・ゴーグルを必ず持参、着用し、眼からの飛沫感染も防ぐこと。指導者同士の会話は最小限に留めること。
- ⑮観客席退出時の片付けを徹底する。ゴミはすべて持ち帰る。

9. テレビ放映・インターネット映像配信

テレビ放映・インターネット映像配信は行わない。

10. 競技結果の配信

競技結果を、以下の公式サイトにて確認することができる。

SEIKO アーティスティックスイミング・リザルト速報サービス 2021年

<http://swim.seiko.co.jp/artistic/>

※速報はWEB公開のみとし、クラブ毎の配付は行わない。

※公式結果の発表について可能な限り競技終了直後、場内で行う。

11. 大会プログラムについて

大会プログラムは2F選手受付にて一部1,000円で販売する。事前予約は行わない。

以上

連絡事項

その他資料は、整い次第、公開いたしますので、引き続きホームページを確認してください。